




目 次

はじめに

参考文献の表示について

第 I 部 政治学入門——キーワードと考え方

-  総合的なウェブサイト
-  政治・政治学を学ぶための事典・辞典
-  自分で政治的ニュースを調べる方法

1. 政治、政治学	5
1. 政治とは何だろう	
2. 政治、経済、文化のメカニズムはどう違うか	
3. 政治、政治学は何に役立つか	
2. 権力、影響力、権威	8
1. 権力または影響力	
2. 誰が、なぜ影響力を持つのか	
3. 権威のいくつかの源泉	
3. 国家の必要性和リスク	10
1. 国家とは何か	
2. 国家の機能と必要性	
3. 20世紀の独裁政治の教訓	
4. 国家の暴走を防ぐしくみ	
4. 立憲主義、政府機構	13
1. 憲法と立憲主義	
2. 立法、行政、司法	
3. 選挙制度	
4. 地方自治	
5. 政治参加、政党、有権者、ポピュリズム	16
1. 政治参加にはどんな条件が必要か	
2. 政党、政党システム、利益団体	
3. 人々の政治意識と棄権	
4. 市民と大衆社会	

5. ポピュリズム (扇動政治)	
6. 民主主義、保守とリベラル	20
1. 政治体制の古典的な分類	
2. 民主主義の宣言、拡大、崩壊事例	
3. 民主主義の多面的な定義へ	
4. 多元性のための対抗軸——政治の「右と左」、保守とリベラル	
5. 21世紀に民主主義が失われる2つ (または4つ) の経路	
7. 公共性、政治的リーダーシップ	24
1. 公共性とは国家の利益か、社会の利益か	
2. 政治的統合とリーダーシップ	
8. 国際関係、国際政治	26
1. 多面的な国際関係	
2. 国際政治史から学ぶ	
3. 国際政治の複数のモデル	
4. グローバリゼーション	
9. 戦争と平和	29
1. 戦争の原因	
2. 戦争の種類	
3. 戦争をどう防ぐか	
10. 安全保障と軍事力	32
1. さまざまな安全保障	
2. 憲法9条と自衛隊	
3. 日米安全保障条約と自衛隊	
11. 【補論】政治の研究方法の種類と選び方	34
〈アクティブ・ラーニングのための練習問題、映像鑑賞〉	37
〈練習問題の解答 (の例)〉	46

第Ⅱ部 日本政治の基礎知識

1章 政府と国会	48
政府の役割——経済システムを補い修正する	
国や政府が問題を起	

こすこともある——政府の両義性 立憲主義と国民主権 権力分立
 最高機関としての国会 国会の権限 二院制と衆議院の優越
 明治憲法（大日本帝国憲法） 日本国憲法 日本国憲法のもとでの政治の展開
 意思決定——変化と合理性

2章 政党・選挙と政治参加 64

政党の定義、役割、分類 政党システム（政党制） 日本の政党システム
 自民党一党優位の4種類の説明 選挙制度の種類と長所・短所
 衆議院選挙の並立制 18歳選挙権と政治学（主権者）教育
 政治参加 投票行動はどのように決まるか 政治的無関心、棄権
 無党派層と政党衰退論 棄権のデメリットは何か デモ、内閣支持率、「日本会議」
 市民社会と大衆社会 マスコミとインターネット 政府のマスコミへの関与 利益団体

3章 内閣と行政 87

行政の活動と組織 内閣と議院内閣制 政府と行政の規模——赤字財政の原因は？
 公務員・官僚の膨張、待遇への批判 行政の権力の源泉——官僚制の理論
 行政の2つの仕事 政策の執行——行政の裁量をどう統制するか
 政策の立案・決定——官僚優位から政治主導へ 首相・与党と官僚の関係
 官邸主導 首相のリーダーシップ——2000年代 首相のリーダーシップ——2010年代
 アクターの協力、ガバナンス 行政改革——有効性、民主性と説明責任
 行政改革——効率性と小さな政府

4章 地方自治 106

地方自治の定義と役割 日本での略史 自治体の種類と2層制
 市町村合併、道州制、大阪「都」構想 団体自治——法的な中央地方関係
 団体自治——財政的な中央地方関係 住民自治——長、議会とその選挙
 地方議会の改革 議員の数・報酬の削減——改

革か、民主主義の縮小か 海外の議会をインターネットで調べてみよう 住民自治——市民の多様な政治参加 住民投票における熟議と扇動 NPO、足による投票

5章 政治の理念と対抗軸 124

政治を理解するための対抗軸 政治的立場の左派と右派 現代日本政治の対抗軸——保守とリベラル 日本での「リベラル」のあいまい化? 論点(1)——大きな政府か小さな政府か 論点(2)——多元主義か権威主義か 2つの軸の相互関係 保守とリベラルの社会的基盤 「改革か、既得権か」 「変化か、現状か」 「強いのか、弱いのか」 ナショナリズム 昭和の戦争をめぐる議論

第Ⅲ部 民主主義とポピュリズム

6章 民主主義——なぜ、多数決だけではダメなのか 148

近代民主主義の展開——18~19世紀 近代民主主義の展開——20世紀 21世紀は? 民主主義の4つの構成要素・理念 民主主義の要素(1)——多数者による支配 要素(2)——多元主義、自由主義 要素(3)——参加型民主主義 要素(4)——熟議民主主義 4つの要素の関連、民主主義の類型化 日本の民主主義の評価、教え方 民主主義指標 民主主義の存立条件と評価

7章 ポピュリズム——なぜ、単純化と攻撃性で集票できるのか 168

ポピュリズムの概念は、政治を吟味し、時に疑うために役立つ ポピュリズムの定義——扇動政治か、人民主義か 定義によって、研究方法も違う 扇動政治——攻撃性、単純化とその危険への注目 日本での事例(1)——小泉首相、ポピュリズム型首長 日本での事例(2)——橋下大阪市長と「維新」 欧米の事例 実証的研

究（１）——「供給サイド」 実証的研究（２）——「需要サイド」
 台頭の背景 ポピュリズムと民主主義の関係 ポピュリズムへの
 擁護と批判 対抗策は？

8章 日本の選挙と政党システム——なぜ、リベラルは保守より弱いのか—— 188

「1955年体制」とその変動 自民党の1党優位制とその原因 衆
 議院への小選挙区制の導入 小選挙区制の政党システムに対する影
 響 比例代表制の政党システムに対する影響 政党得票率による
 分析 小泉政権と「強い首相」 政権交代——民主党政権の失敗
 と成果 2012年衆議院選挙——自民党が政権奪還 2013年参議院
 選挙——自民の「1強政治」へ 2014年衆議院選挙——超早期解散
 の真意と妥当性は？ 2016年参議院選挙——自民・維新・公明の「改
 憲派」が両院で3分の2に 2017年衆議院選挙——リベラル政党へ
 の解体作戦 2019年参議院選挙——野党協力の一定の成果 2020
 年代の国政選挙 2021年衆議院選挙での維新「躍進」は誤報？ 投
 票行動モデルの精緻化を 政党システムの国際比較 自民党1党
 優位制の復活か？——さまざまな原因究明 望ましい政党システム
 とは？ 日本のリベラル派・政党の展望 自民党——安倍政権の
 統治・宣伝の技術 野党の存在理由 教育とマスコミの責任

第IV部 憲法と統治機構をめぐる議論

9章 改憲（憲法改正）、議会の縮小論、首相公選論—— 218

——賛否の主張と、検討するための参考情報

日本国憲法の制定過程 制定過程をどう評価するか 自民党の改
 憲案と、問題点——人権制限の強化も 維新の会の改憲案と、問題
 点 緊急事態条項と問題点 改憲の手続き——硬性憲法 「一

方的改憲でよいか——先進国は「合意型改憲」が多い 議員定数・
給与の削減、一院制 首相公選（議院内閣制の廃止）——比較政治
学からの知見

初版あとがき（抜粋・一部修正）／新版での追記（抜粋）／全訂第3版で
の追記

索 引